

令和3年3月1日

横浜市長 林 文子様

認定 NPO 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金
横浜市港南区港南台 9-30-31
理事長 角田東一

周辺住民賛同 基準も答弁も守らないのは詐欺

市長には、市広聴第 2083 号で「周辺住民賛同審議会答弁守らないのは詐欺」について回答頂きましたが、再度質問します。

市長回答は、「事業者に対し、**市民の皆様**の質問等に対応するよう働きかける、市の事業者への働きかけは上郷開発の魅力や利便性を高めるために**周辺の皆様**との連携が不可欠との考えで行っている」としており、「**周辺住民の賛同を得る**」との回答はありませんでした。

横浜市の都市計画提案制度評価基準は、「周辺住民の賛同を得ること」となっています。横浜市は、「市民の皆様」や「周辺の皆様」と区別し、「周辺住民」とは開発地域に接する 50m 以内の住民や自治会と定義しています。

都市整備局石津課長は、2018 年 1 月 15 日の都市計画審議会で「周辺住民の賛同得るために今後市と事業者が協働して行う」と答弁しています。

横浜市は、前回までの市長回答では公的な評価基準や都市計画審議会の「周辺住民の賛同を得る」という答弁に程遠く、このままでは市民への公約を守らない詐欺行為と言わざるを得ません。

林市長に確認しますが、都市計画審議会で都市整備局石津課長が「事業者と協働して周辺住民の賛同を得る」と答弁しているとおり上郷開発に反対陳情書を提出している周辺住民や自治会に対し意見を聞き賛同を得るのか、都市計画提案制度評価基準や事業者と協働して周辺住民の賛同を得るとの答弁を守らず上郷開発の許可手続きを進めるのか明確にお答えください。

ホテルのふるさと瀬上沢基金は、市民と協力して、
長い間守られてきた瀬上沢緑地を取得・借用・保全を通じて地球環境を守り、
子供や孫たちの世代に豊かな自然を残す為に活動しています。

R2.12.25 現在 会員：169 名 寄付：15,365 名 1,114 万円